



イエ～イリ パイプライン 家入

いえいり ときはる
家入 時治 赤穂市議会議員 6 期
・総務文教委員会委員

まじめに こつこつ 一歩ずつ
誠実・堅実・着実

連絡先 〒678-0233 赤穂市加里屋中洲 5 丁目 45-2 電話 090-4560-5427

【9～10 月の市政・議会の主な動き】福浦産業廃棄物最終処分場建設計画の今後と専門家会議を確認

1. 一般質問(質問持ち時間30分／人・答弁含まず)

9/24(水)10 人、25(木)4 人の議員が一般質問しました。私は 25(木)に質問に立ちました。

(1) 赤穂の魅力を発信するキャッチフレーズの策定と取組みについて

赤穂の魅力を発信するキャッチフレーズを明確なコンセプトの下に、メインのキャッチフレーズを優先に、目的に応じて使い分けるキャッチフレーズも策定し、観光振興や移住・定住の促進、経済の活性化やふるさと愛で誇りの持てるまちづくりに取り組むべきではないか。



答弁要約: 新たなキャッチフレーズよりも、魅力を感じられるような施策や事業を展開することが最も重要。また、これまでのキャッチフレーズを効果的に活用していく。

(2) 赤穂観光大使(49名)の活用のあり方について

(観光大使関連他3項目) 赤穂観光大使を周知し、観光大使をこれまで以上に各事業に参加していただき、情報発信をお願いするべきではないか。

答弁要約: 議員の提案を踏まえて検討していく。

(3) 福浦産業廃棄物最終処分場建設計画に対する今後の対応について (8月市民への説明会終了)

想定される今後の事業者の動きと兵庫県の対応について。また、兵庫県が設置した専門家会議が中断しているがどんな状況になれば再開されるのか。

答弁要約: 事業者は、2段階目の兵庫県紛争予防調整条例の手続きとして、説明会等実施報告書の県への提出に移っていくものと考え。また、県の専門家会議は、平成26年に3回開催され、処分場の構造や事業計画に関する課題について調査・検討がなされたと聞いている。再開は県が判断することになるが現在のところ未定であると聞いている。

2. 総合計画改定特別委員会を傍聴

10/7(火) 赤穂市総合計画基本構想及び基本計画中間見直し案について特別委員会が開催され、

- (1) 基本構想の将来人口の見通しと目標の見直し
- (2) 基本計画 「安心」誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり「快適」自然環境と都市環境とが調和した住みやすいまちづくり「元気」産業と地域資源を活かした魅力あふれるまちづくり「人」歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり について

それぞれに貴重な質疑がなされましたが、肝心な特別委員会(議会)としての修正意見・案は無く議案に賛成することになりました。特別委員会として意見を附して賛成するべきではなかったかと思えます。

【9～10 月の主な議員活動】 議員研修、市民病院祭、地元自治会消火訓練、ル・ポン観覧他

1. 議員研修は「管理型産業廃棄物最終処分場問題等について」

9/29(月) 坂本弁護士から、産業廃棄物最終処分場建設問題を取り巻く現状と今後の対策について、具体的な取り組みなどをご教示いただき、非常に参考になりました。



2. 大勢の来院者で賑わう赤穂市民病院祭(写真左下)

3. 中洲自治会消火訓練に参加

9/28(日) 地元中洲自治会は、毎年防災について体験する行事が行われ、地域住民への防災の啓発や地域コミュニティを大切にしています。



4. 赤穂国際音楽祭「ル・ポン」を観覧

9/30(火) 今年も榎本大進さん率いる世界超一流の管弦楽クラシックを堪能しました。

【9月の市民相談】 細野町コスモス入口側溝段差、中広交差点内マンホール周辺の段差など8件